

まちづくり交付金 事後評価シート  
岡山都の原風景創生地区

平成20年12月

岡山県岡山市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岡山県	市町村名	岡山市	地区名	岡山都の原風景創生地区			面積	825ha
交付期間	平成16年度～平成20年度	事後評価実施時期	平成20年度	交付対象事業費	3,058百万円	国費率	0.4		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	基幹事業	市道奉還町駅元町2号線道路整備事業、下石井公園整備事業、地域生活基盤施設(案内サイン)、高質空間形成施設(西川緑道公園)、高次都市施設(北長瀬駅自由通路)、街なみ環境整備事業(案内板、道路美化)							
	提案事業	街なみ環境整備計画策定事業							
			事業名	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画から削除した事業	基幹事業 提案事業	なし なし						
		新たに追加した事業	基幹事業 提案事業	西口広場進入路整備事業、地域生活基盤施設(自転車駐輪場)、市街地再開発事業(本町8番、平和町1番) 事業効果分析事業	市街地再開発事業:関連事業から基幹事業への変更 西口広場進入路整備事業、自転車駐輪場:関連事業の交通結節点事業の中で、事業の必要性があるため	市街地再開発事業:事業追加により指標3の人口に影響があったため、対象範囲を変更している(西部新拠点→地区全体) 西口広場進入路整備事業、自転車駐輪場:当初より交通結節点事業を想定した目標・数値指標を設定していたので影響なし			
交付期間の変更		当初 変更	平成16年～平成20年	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響					

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	指標1	来街者数	人/年	940,745	H15	1,000,000	H20	-	1,216,800	○	あり なし	来街者は増加傾向を示しており、本地区に賑わいが戻ってきていることが伺える。	H21年5月頃
	指標2	歩行者等交通量	人/12h	5,074	H16	6,089	H20	-	5,478	△	あり なし	施工中だったが、交通量は増加していた。整備後は更に交通量増加が見込まれる。	H22年1月頃
	指標3	人口	人	34,295	H16	36,000	H20	-	37,300	○	あり なし	市街地再開発事業などにより中心市街地の人口が増えていることが確認できた。	H21年5月頃
指標4	景観満足度	%	39	H16	47	H20	-	61	○	あり なし	景観整備を実施したり、都心部の整備により地区の景観が向上した。	H21年9月頃	

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												

4)定性的な効果発現状況


- 市道奉還町駅元町2号線(西口筋)へ自転車通行帯を設けたことで、適切に歩行者と自転車が分離され、安全な通行が行われていることが交通量調査により確認できた。事業後に実施したアンケート調査結果によると自転車利用者の8割が効果があったと評価した。
- 街なみ環境整備事業を実施した出石地区では、地元住民によるイベントが開催されている。
- 西川緑道公園では多くのイベントが実施されており、市民が集う空間として利用されている。また、維持管理についても、地域の複数の団体が清掃活動を実施している。

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
	住民参加プロセス	出石町一丁目地区まちづくり協議会	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	出石町一丁目地区まちづくり協議会で検討を行い、住民主導で景観整備を進めていった。
	持続的なまちづくり体制の構築	景観形成重点地区(景観法)の指定 まちづかい塾、出石をどねえんかする会、さんどう会	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	後楽園周辺の歴史的なまちなみの保全や都心の良好な街路景観の形成を目的として、景観形成重点地区(景観法)を指定し、良好な景観を誘導する。
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		住民主体のまちづくりに関連したボランティア組織のため、主体的な活動はグループにまかせ、市は後方支援に徹する。	


## 様式2-2 地区の概要

岡山都の原風景創生地区地区(岡山県岡山市) まちづくり交付金の成果概要


まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標:いつまでも心に残る「おかやまの原風景」を守り育てる中で、本地区では「都の原風景」を創出し、都市再生を図る。 目標1 城下町の面影と都市的な活気、風格のみなざる都心部の景観形成を柱として中心市街地活性化を図り、定住促進とともに交流、賑わいの場を再生する。 目標2 新拠点の整備により、都市基盤施設の充実とともに新たな「都の原風景」を創出し、定住促進及び交流拠点の形成を図る。	来街者数	単位:人/年	940,745 H15	1,000,000 H20	1,216,800 H20
	歩行者等交通量	単位:人/12h	5,074 H16	6,089 H20	5,478 H20
	人口	単位:人	34,295 H16	36,000 H20	37,300 H20
	景観満足度	単位:%	39 H16	47 H20	61 H20



北長瀬駅南北自由通路



西川筋自転車道



西川緑道公園

総合グラウンド【国体会場】(関連)

情報板 (基幹:地域生活)

道路美化、案内板 (基幹:街なみ環境整備事業)

西川筋自転車道(基幹:道路)

西川広場進入路(基幹:道路)

自転車駐輪場(基幹:地域生活)

後楽園

岡山城

JR岡山駅

市街地再開発(基幹:市街地再開発)

下石井公園(基幹:公園)


西川緑道公園【照明・歩道等】(基幹:高質空間)

土地区画整理事業(関連)


JR北長瀬駅

南北自由通路(基幹:高次都市)


事業区域



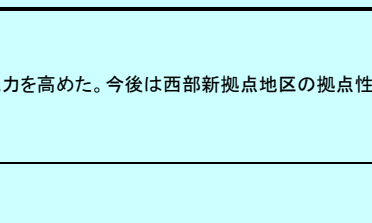
道路美化



再開発事業(本町8番)



情報板



下石井公園

**まちの課題の変化**

- 歴史的な街並み整備と駅周辺の高度利用化など、地域性に応じた基盤整備により、良好な都市景観および都心部の活気と賑わいが向上し、来街者、人口ともに増加した。
- 自歩車の分離による快適な歩行者空間、情報板設置による回遊性の向上、公園整備による緑のネットワークの拡充など、魅力ある都市景観の形成が促進された。
- 公共事業が良好な景観形成の先導役となり、市民、事業者の取組を誘導し、総合的な景観施策を展開している。
- 北長瀬駅設置・南北自由通路の整備により都心部へのアクセス向上・鉄道分断地区の連携強化され、区画整理事業による居住空間の創出と相乗的に効果を発揮し、新拠点の魅力を高めた。今後は西部新拠点地区の拠点性および南北連携の一層の強化が必要である。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

- 活気や賑わいを定着させるため、住民活動の場を提供したり、広報誌などによるイベントのPRなど、まちづくり活動の支援を行っていく。
- 都心部の回遊性、来街者数などの上昇傾向を維持するため、常に正確な情報を提供できるよう情報案内板の適切な管理に努める。
- 自転車道の適切な利用を呼びかける路面表示や案内看板の設置等を実施し、自転車道の利用率向上を目指す。
- 景観形成重点地区(景観法)指定および拡充を積極的にPRし、地域住民とともに良好な景観形成に取り組んでいく。
- 景観まちづくりシンポジウムなどの開催により、市民の景観に対する意識をさらに高めていく。
- 西部新拠点において、北長瀬駅および南北自由通路の整備により形成されている拠点性をより充実させるため、土地区画整理、公園整備の事業化に向けて検討を進めていく。
- 岡山市都市交通戦略に基づき、公共交通を中心としたまちづくりを推進していく。また、快適な歩行・自転車環境の実現や都市内移動補助手段の確保などにより、都心内での回遊性の向上を図る。